

令和元年度 第2回坂町総合教育会議録（会議概要）

- | | | | |
|---|------|---|-----------------|
| 1 | 日 時 | 令和元年 12月 18日（水） | 16時 30分～17時 00分 |
| 2 | 場 所 | 坂町役場 会議室 3 | |
| 3 | 出席委員 | 吉田隆行町長・太田耕樹教育長・松村英勝教育委員
埜本友造教育委員・平沖純子教育委員・向井智恵教育委員 | |
| 4 | 出席職員 | 新木総務部長・河本教育次長
新谷学校教育課長・福嶋生涯学習課長・藤原学校教育課主幹
（記録者） 見田学校教育課係長 | |

<会議概要>

1. 開会宣言（新木総務部長）

2. 吉田町長あいさつ

（吉田町長）

学力調査における結果が坂中学校の英語は最下位であった。部活動については、文科省からの通知では、部活動の制限をしている内容等、困惑している。学力、体育、文化、それぞれで、子どもたちを主体とし、子どもたちの志を大切に、志で終わらせず、達成できるよう支援していくこと、環境をつくることは、我々大人の責務であると考えている。そういうことを含め、皆様の意見を拝聴しながら、この会議を進めていきたい。

3. 「令和2年度坂町教育に関する大綱」について

・河本教育次長概要説明

4. 令和2年度主要事業（案）について

・学校教育課における主要事業（案）

新谷学校教育課長より概要説明

・生涯学習課における主要事業（案）

福嶋生涯学習課長より概要説明

（吉田町長）

学校教育課における主要事業について、学校トイレの整備工事の計画があるが、主

要事業で説明がなかった。また、教育委員さんへは内容説明をしているのか。

(河本教育次長)

学校トイレの整備事業については、今年度事業とし、補正予算に計上させてもらったので、令和2年度主要事業としてはあげておりません。学校トイレの整備については、教育委員さんへの説明は行っています。

(吉田町長)

生涯学習課における主要事業について、今年度は海外研修を行う予定だが、南加坂郷友会は創立何年を迎えるのか。節目の年で記念行事があるのなら、お祝い等、記念行事を考慮した研修内容や、日程計画を行う必要があるのではないかと。

(福嶋生涯学習課長)

南加坂郷友会および県人会の記念周年について確認しておきます。

(埴本友造教育委員)

学校教育課における主要事業について、坂小学校・横浜小学校の体育館の照明器具の修繕(LED照明へ整備)されるということだが、小屋浦小学校、坂中学校は修繕しないのか。予算上順次修繕していく予定なのか。

(新谷学校教育課長)

これについては、全て学校を確認し、不具合が生じている学校の照明器具の修繕を行います。小屋浦小学校、坂中学校から現在、修繕の必要はないとの回答でした。

(河本教育次長)

主要事業の説明にもあった、学校施設長寿命化計画策定事業は、「文部科学省インフラ長寿命化計画」が策定され、「学校施設の長寿命化計画」の策定が求められているため、専門業者により、各小学校、中学校の施設点検等を行い、修繕、整備の必要な箇所を挙げ、整備が計画的に行われるよう、計画書を策定するものである。この計画には、体育館およびその他、学校施設のLED照明への整備が含まれることが予想されるため、計画に準じて整備を行いたい。

なお、長寿命化計画の令和2年度末までに策定を行わなければ、学校施設の老朽化についての修繕、整備費に係る国庫補助金を受けることができないため、来年度、早急に計画を策定したい。

5. その他

(新木総務部長)

「坂町政施行70周年について」

坂町政施行70周年の記念事業が来年度予定されている。体育系、文化系等の行事も計画しておりますことを、お知らせします。

(福嶋生涯学習課長)

「2020 東京オリンピック聖火リレーについて」

聖火リレー内定者、コース、当日の日程等、現在、発表があった内容について、説明。詳細については、確認でき次第、順次お知らせいたしますので、ご協力ください。

(藤原学校教育課主幹)

「副読本 わたしたちの坂町」の追加資料増刷について

今年度3年生～4年生、次年度3年生となる現2年生へ配布する副読本についてである。昨年の豪雨災害を受け、これから自分たちは何をしていくべきかを子どもたちが自ら考えていくための、「提案」としての資料を追加したい。

被災後、改めて、自分たちの命を守る、他者の命を守るという点から、自分はどうすべきなのか、何をすればよいか、また、人とのつながりをどうつくっていくのか、子どもたちに考えさせていきたい。こうしたらよいですという「答え」を教えるのではなく、考えるヒントとなり、調べたり、話し合ったりするきっかけとなる資料であってほしい。災害の事実を忘れさせないことも大切だが、災害後の坂町の動きも知ってほしい。「自分の住んでいる地域が好きですか」というアンケート調査では、小・中学生ともに数値が高い。自分の住んでいる地域が好きだからこそ、10年後、20年後の坂町を見据えて、自分たちは何ができるか、どうすべきかを考えていく子どもであってほしいと思いを込めた追加資料となっている。

6. 閉会宣言（新木総務部長）